

多くの逸材を輩出



野川湘東

のがわしようとう

1839-1917

大野郡数屋村(本巢市数屋)の医家の家に生まれた。名は杏平、湘東・今日園松琴齋一雙と号した。12歳で加納範儒に漢学を学び、医学を大垣藩医江馬活堂、オランダ軍医ボードインに学んで家業を継いだ。漢詩を一宮の森春涛に習い、詩集も著したまた、茶道、插花、俳句にも通じ、遠州流第七世(華道)の宗匠であった。門下に高木貞治(学者)、林宗範(茶道)、高木春堂(画家)、杉山元輝(画家)、矢野判三(彫刻家)などがおり、数多くの人材を輩出した。